

BADMINTON VOICE

市岡東中学校 バドミントン部 Vol. 2

May 14, 2017

1年生のみなさん、バドミントン部へようこそ。部活動が始まって約1ヶ月が経ちますが心と体の変化はどうでしょうか？毎日、体育館の中を30～40周走ったり、素振りを何百回もしたりと本当に頑張っています。小学生のときのクラブ活動と大きく異なり大変だと思いますが、弱音を吐くことなく、一生懸命頑張っているみなさんは本当にかっこいいです。筋肉痛はみんなの努力のたまものです。胸を張っていきましょう。

さて、以下はバドミントン部がこれまで大切にしてきた心得です。しっかりと守って、先輩たちが築いていったバドミントン部を引き継ぎましょう。

バドミントン部心得



- 部長の掛け声への返事もしっかりする。また先生や部員などの話はしっかり聞き、その態度を示すためにもアドバイスなどに対し返事をする。
- 体操・ストレッチの時、私語は厳禁。体操・ストレッチは練習を支える一番の土台であり、練習以上に欠かせないものであるという意識を持つ。
- 練習中に部活以外のことの会話は慎む。体育館に入った時点から少しづつ頭を切り替えて、部活に集中できるような状態で練習に臨むこと。
- 練習中、上級生はなるべく下級生の練習を見てアドバイスをする。逆に下級生も上級生の練習を見たりして、技術を盗んだり教わったりする。
- 言うまでもないが、練習中に掛け声をかける。そうすることで、周りはもちろん自分自身の士気を高められる。
- 仲間の試合の応援は全力です。苦しい試合ほど応援の声は重要である。仲間からの応援によって何倍も強くなれることがある。
- 試合後は勝敗に関わらず、すぐに先生・部員にアドバイスをもらいに行く。



- 部活開始の最低でも10分前までに体育館に来て準備を始める。5分以上の遅刻者は、練習前に筋トレや外周など課せられたメニューをこなさなければコートに入れない。(特別な理由がある場合は免除するがどのような場合でも顧問や部長にしっかりと連絡することを原則とする)
- 部に対する不満や疑問ははつきりと言う。先輩後輩関係なく、部の悪いと思う部分を我慢して行う必要はない。必要ならば全員でミーティングを行い、みんなが納得できるよう話し合う。
- 支えてもらっている保護者・顧問・部員など全ての方に感謝の気持ちを持つ。

以上

現段階では以上だが、必要ならばみんなで話し合ってさらに項目を増やしていく欲しい。上記のバドミントン部の心得が形式的にやっているだけという状況は絶対にあってはならない。項目が少し多いが、当たり前のことしか書いておらず、志が高ければ自然とできることばかりである。誠意を持って日頃から部活動に取り組んでほしい。

また、市岡東中学校のバドミントン部は人数が学校で1番多い。自分1人だけなら挨拶・声援などを出さなくても分からぬるだらうと思う人がいたら、それは大きな間違いだ。個人が集まって部になるからである。そのやる気の低さから部活動に対する姿勢が悪くなり、最終的にバドミントン部全体の雰囲気が悪いものになる。

最後に、あなたたちは、先輩たちが汗と涙で築いていった伝統あるバドミントン部の大切な一員である。その自覚を持って、お互いに刺激し合いながら素晴らしいバドミントン部を創っていこう。